

2024年度環境省LD-Tech認証制度の概要

2024年度環境省LD-Tech認証製品の公募説明会

令和6年（2024年）12月
2024年度環境省LD-Tech制度運営事務局



1. 環境省LD-Tech認証制度の概要	2
2. 2023年度環境省LD-Techリスト 及び水準表からの変更点	10
3. 環境省LD-Techリスト及び水準表の 拡充・更新に関する提案募集（後期） のご案内	22
4. その他参考資料	26

1.環境省LD-Tech認証制度の概要

- 脱炭素技術の中でも、特に**CO2削減に最大の効果**をもたらし、脱炭素社会の実現を先導すると考えられる**脱炭素技術・製品**を指します。

環境省LD-Techとは



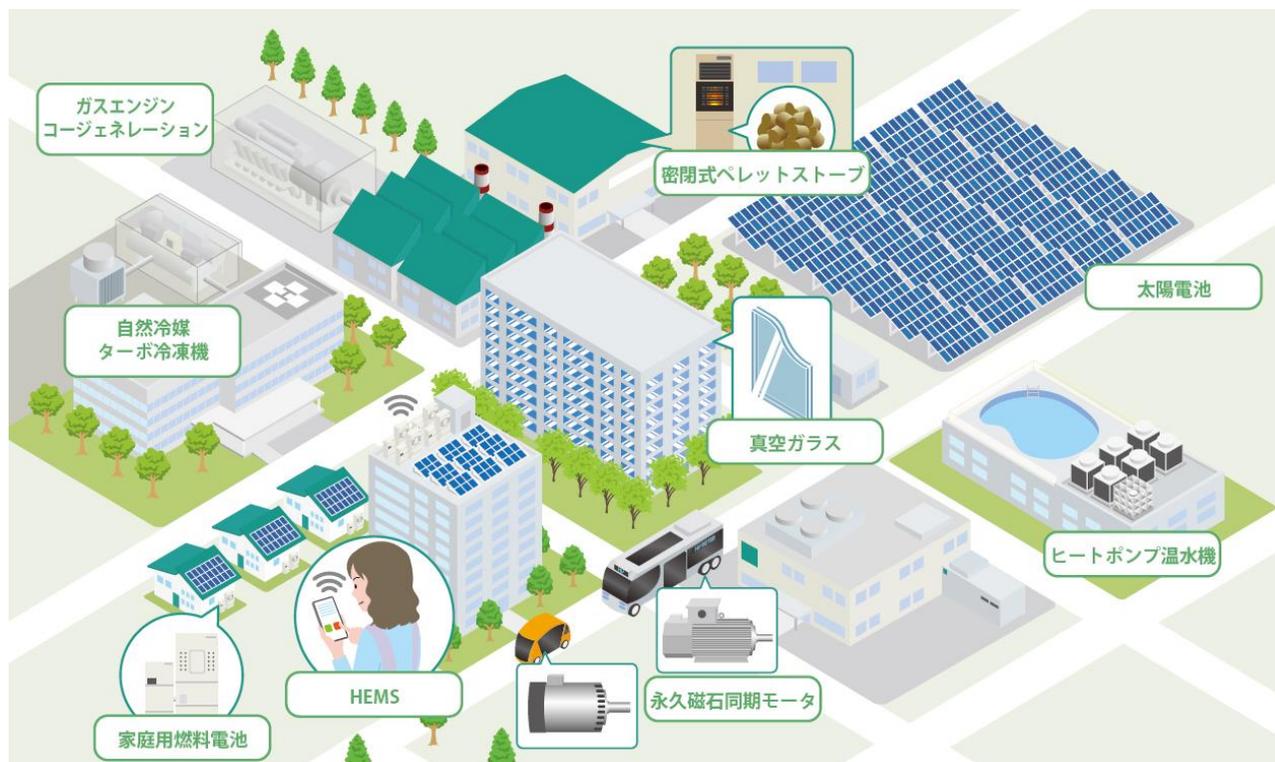
先導的
(Leading)

脱炭素技術
(Decarbonization
Technology)

脱炭素技術としての先導性（≒脱炭素社会の実現を牽引）を有すること

エネルギー消費量やCO2排出量の削減について、**最高性能**であること

環境省LD-Techの例



👉 技術の区分（例：再エネ、省エネ）や単位（例：最終製品、要素部品）は様々であり、脱炭素社会実現のための**技術情報を幅広く整理**

【参考】環境省LD-Techの定義（詳細）

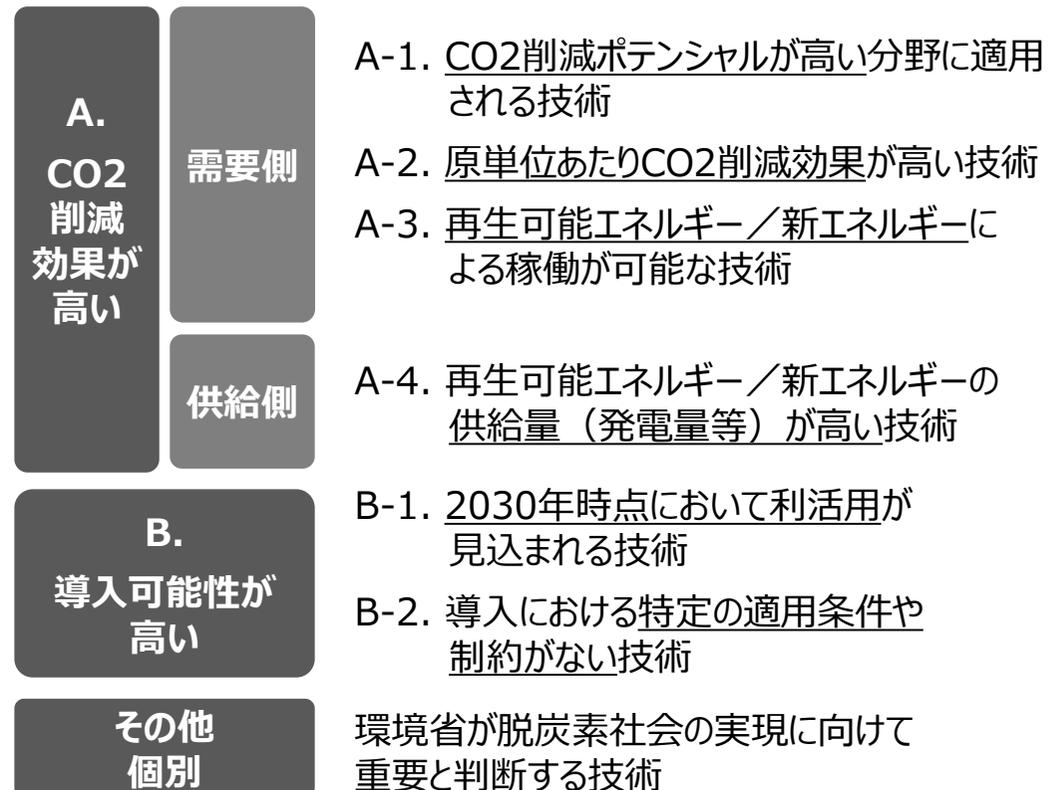
- 2050年カーボンニュートラル実現に向け、エネルギー消費量削減・CO2排出削減のための先導的な要素技術、またはそれが適用された設備・機器等のうち、エネルギー起源CO2の排出削減に最大の効果をもたらすものと定義されます。

環境省LD-Tech (Leading Decarbonization Technology)

2050年カーボンニュートラル（以下、CN）に向け、 エネルギー起源CO2の排出削減に最大の効果をもたらす、 先導的な脱炭素技術

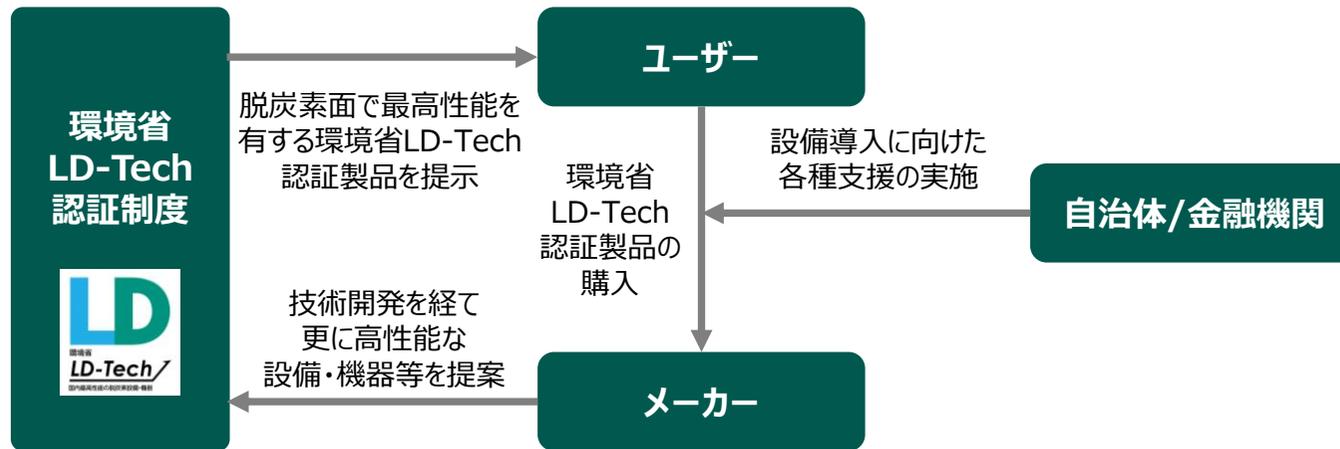
- “Leading”（先導的とは）
 - 当該設備・機器等に適用されている技術に先導性が認められる
 - 適用されている技術そのものに新規性はないが、技術の組合せや適用方法によって、先導性が認められる
 - “Decarbonization Technology”（脱炭素技術とは）
 - エネルギー消費量削減又はCO2排出削減についての最高性能「LD-Tech水準」を有する設備・機器等
- ※ここでの「技術」には要素技術も含まれる
- ※「設備・機器等」とは、事業者や消費者が購入できる単位のシステム、設備・機器、部品等の総称

環境省LD-Techの要件



環境省LD-Tech認証制度が目指す姿

- 本制度は、「最高性能を有する製品を提示・更なる技術革新を促進」「新たな設備・機器等の発掘」「情報発信による普及啓発」を担い、**環境省LD-Tech認証製品の普及**を図ることで2050年カーボンニュートラル実現を推進しています。



環境省LD-Tech認証制度の役割

最高性能を有する製品を提示し、製品導入や更なる技術革新を促進

- ✓ 脱炭素面で最高性能を有する製品を示し、ユーザーが脱炭素製品を導入する環境を整備
- ✓ メーカーに対し、脱炭素面での高性能化の追及に向けた技術開発を促す

新たな（埋もれた）設備・機器等（技術カテゴリ）の発掘

- ✓ メーカーに対し、環境省LD-Tech認証を取得するための新たな設備・機器等の提案を促し、なるべく幅広い種類の脱炭素技術を発掘

環境省LD-Tech認証製品の情報発信による普及啓発

- ✓ 様々な媒体を通じた情報発信施策や、環境省他事業との連携によるインセンティブの付与を通して、環境省LD-Tech認証製品の普及を促進

2050年カーボンニュートラル実現に貢献

- 脱炭素技術の情報を掲載対象別に3種類（「環境省LD-Techリスト」、「環境省LD-Tech水準表」、「環境省LD-Tech認証製品一覧」）の資料に取りまとめています。

2023年度の例

脱炭素に資する設備・機器等

環境省LD-Techリスト

環境省が2050年CNの目標達成に向けて重要と考えるCO2削減効果に優れた脱炭素技術を設備・機器単位で掲載

環境省LD-Tech水準表

CO2削減効果に優れた設備・機器等のうち、商用化されているものの最高性能の値をLD-Tech水準として表示

環境省LD-Tech認証製品一覧

環境省により認証された、CO2削減効果が最も高いと考えられる製品を一覧化して記載



品名	品目	規格	備考	LD-Tech水準	LD-Tech認証	LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品



品名	品目	規格	備考	LD-Tech水準	LD-Tech認証	LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品



品名	品目	規格	備考	LD-Tech水準	LD-Tech認証	LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品
デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	デジタルプリンター	8	13	環境省LD-Tech認証製品

- 本説明会では、令和6年度環境省LD-Tech認証製品一覧の作成に向けた、製品情報の募集方法を中心に説明を行います。

本説明会の対象範囲

環境省LD-Techリスト

脱炭素に向けて重要と位置付ける
設備・機器等（技術カテゴリ）を一覧化

- 掲載項目（一例）
 - 設備・機器等の名称
 - 当該技術の「原理・仕組み」
 - 技術成熟度 他

環境省LD-Tech水準表

リスト掲載済の設備・機器等について、
その市場セグメントごとに区分し、
各区分における当該年の省CO2・
脱炭素性能の最高値（LD-Tech
水準）を一覧化

- 掲載項目（一例）
 - 設備・機器等の名称
 - 認証対象クラス
 - LD-Tech水準
 - 性能を示す測定単位、計算方法、試験条件

環境省LD-Tech認証製品一覧

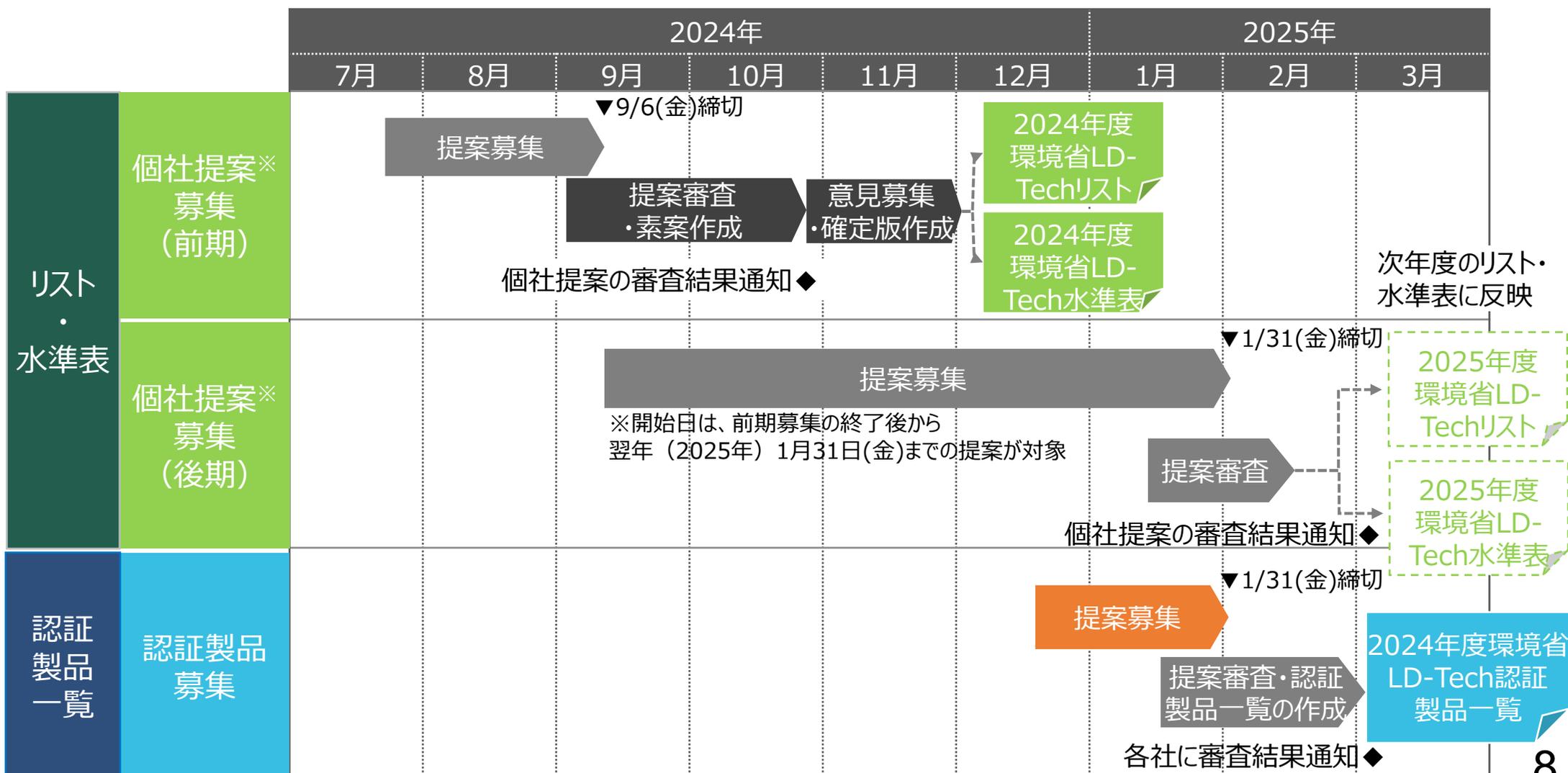
水準表掲載のLD-Tech水準に
適合する性能を有する製品型番を
一覧化

- 掲載項目（一例）
 - 製品型番
 - 製造・販売メーカー
 - 性能値 他

環境省LD-Tech認証制度の年間スケジュール

■ 本制度の各ツール（リスト・水準表・認証製品一覧）は毎年度更新されます。

リスト・水準表・認証製品一覧の更新スケジュール（2024年度版）



※：環境省LD-Techに関する設備・機器等の提案募集のことを「個社提案」と略す。

2. 2023年度環境省LD-Techリスト 及び水準表からの変更点

リストの更新・拡充

- 環境省LD-Techに関する設備・機器等の提案募集（個社提案）の前期募集を踏まえ、「内外共に換気口を持つ二重窓」が2024年度環境省LD-Techリストに追加されることになりました。
- また、該当設備・機器は、水準表にも同時追加されました。

「2024年度環境省LD-Techリスト」の主な変更点

No	区分			概要	
	部門1	部門2	技術分類	設備・機器等	原理・しくみ
L-000263	家庭	断熱	窓	内外共に換気口を持つ二重窓	アルミ製と樹脂製の二重窓と換気口で構成されているものを指し、24時間換気設備の稼働により、二重窓の中間層を經由して外気が室内に取り込まれる。中間層に外気を通気させることにより、外窓側は内外の温度勾配を小さくし、外部への伝導熱を減少（窓の高断熱化）させ、内窓側は室内から中空層へ流れる伝導熱を換気空気に乗せて熱回収することで、昇温された空気として室内に取り込む（快適な換気）ことができる。

水準表の更新・拡充

- 環境省LD-Techに関する設備・機器等の提案募集（前期）と意見募集の結果を踏まえ、一部の設備・機器等について水準表のクラス追加を実施しました。
- また、LD-Tech水準は、前年度認証製品の性能等を基に、各種事務局調査により一部更新を実施しました。
- LD-Tech水準に変更があったクラスは、2024年度環境省LD-Tech水準表内にて赤字で掲載しております。

詳細は本資料13-21頁を参照

水準表に追加されたクラス

- 2024年度環境省LD-Tech水準表には、「温水機（水素焚き）」及び「内外共に換気口を持つ二重窓」等に係る計9クラスが水準表に追加されることになりました。

「2024年度環境省LD-Tech水準表」に新規追加されたクラス

水準表クラスNo.	区分	概要 設備・機器等	クラス			測定単位
	技術分類		条件	能力（名称）	能力（単位）	
S-261002	ボイラ	温水機（水素焚き）	潜熱回収型 水素・都市ガス混焼	—	—	ボイラ効率（%）
S-044004		水素ボイラ（貫流ボイラ）	潜熱回収型	蒸発量	1500kg/h以上 3000kg/h	ボイラ効率（%）
S-263001	窓	内外共に換気口を持つ二重窓	外窓／樹脂複層＋内窓／樹脂複層、引違い	—	—	熱貫流率（%）
S-263002			外窓／樹脂複層＋内窓／樹脂単板、引違い			
S-263003			外窓／アルミ樹脂複合複層＋内窓／樹脂複層、引違い			
S-263004			外窓／アルミ樹脂複合複層＋内窓／樹脂単板、引違い			
S-263005			外窓／アルミ複層＋内窓／樹脂複層、引違い			
S-263006			外窓／アルミ複層＋内窓／樹脂単板、引違い			
S-263007			外窓／アルミ単板＋内窓／樹脂複層、引違い			

LD-Tech水準の更新があったクラス (1/7)

■ 2023年度からLD-Tech水準の更新があったクラスを本資料14から20頁に掲載しております。

更新箇所は、赤字で表示

水準表クラス No.	区分	概要 設備・機器等	条件	クラス		LD-Tech 水準	測定単位	
	技術分類			能力 (名称)	能力 (単位)		単位	名称
S-001002	空調機（ヒートポンプ・個別方式）	ガスヒートポンプ	-	相当馬力数	7.5HP超10HP以下	1.28	-	COPp
S-001003			-	相当馬力数	10HP超16HP以下	1.47	-	COPp
S-001004			-	相当馬力数	16HP超25HP以下	1.38	-	COPp
S-001029			発電機付	相当馬力数	16HP超25HP以下	2.09	-	期間成績係数 (APFp)
S-004006		パッケージエアコン（ビル用マルチ）	-	冷房能力	50.4kW超 56.0kW以下	6.9	-	通年エネルギー 消費効率 (APF)
S-004003			-	冷房能力	69.0kW超 80.0kW以下	6.7	-	通年エネルギー 消費効率 (APF)
S-004004			-	冷房能力	80.0kW超 90.0kW以下	6.8	-	通年エネルギー 消費効率 (APF)
S-011047	熱源・空調機（ヒートポンプ・中央方式）	空冷ヒートポンプチラー	散水式	冷却能力	60.0kW超 90.0kW以下	7.00	-	期間成績係数 (IPLV)
S-011052			散水式	冷却能力	60.0kW超 90.0kW以下	6.33	-	成績係数 (COP)

LD-Tech水準の更新があったクラス (2/7)

更新箇所は、赤字で表示

水準表クラス No.	区分	概要 設備・機器等	クラス 条件	クラス 能力 (名称)	能力 (単位)	LD-Tech 水準	測定単位						
	技術分類						単位	名称					
S-011062	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)	空冷ヒートポンプチャラー	散水式、冷水出入口温度差7℃	冷却能力	60.0kW超 90.0kW以下	6.46	-	成績係数 (COP)					
S-011073								冷水出入口温度差7℃	冷却能力	90.0kW超 120.0kW以下	3.88	-	成績係数 (COP)
S-011075								冷水出入口温度差7℃	冷却能力	160.0kW超	3.42	-	成績係数 (COP)
S-011097								冷房専用、散水式	冷却能力	60.0kW超 90.0kW以下	7.00	-	期間成績係数 (IPLV)
S-011102								冷房専用、散水式	冷却能力	60.0kW超 90.0kW以下	6.29	-	成績係数 (COP)
S-011103								冷房専用、散水式	冷却能力	90.0kW超 120.0kW以下	5.87	-	成績係数 (COP)
S-011113								冷房専用、冷水出入口温度差7℃	冷却能力	90.0kW超 120.0kW以下	3.88	-	成績係数 (COP)
S-011122								冷房専用、冷水出入口温度差7℃、散水式	冷却能力	60.0kW超 90.0kW以下	6.53	-	成績係数 (COP)
S-011123								冷房専用、冷水出入口温度差7℃、散水式	冷却能力	90.0kW超 120.0kW以下	6.14	-	成績係数 (COP)

2. 2023年度環境省LD-Techリスト及び水準表からの変更点

LD-Tech水準の更新があったクラス (3/7)



更新箇所は、赤字で表示

水準表クラスNo.	区分	概要 設備・機器等	クラス			LD-Tech 水準	測定単位	
	技術分類		条件	能力 (名称)	能力 (単位)		単位	名称
S-260020	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中 央方式)	デシカント空調システム	固体(乾式)、熱交換 器一体型	最大処理風量	250m3/h超	5.1	kg/h/kW	除湿冷房消費 電力あたり除 湿量
500m3以下								
S-260021			500m3/h超	4.4	kg/h/kW	除湿冷房消費 電力あたり除 湿量		
S-260022			1,000m3以下					
S-260023	1,500m3/h超	5.1	kg/h/kW	除湿冷房消費 電力あたり除 湿量				
S-025003	熱源(ヒートポン プ)				高温水ヒートポンプ(空気熱 源・循環式)	温水出口温度65℃以 上70℃以下、乾球温 度25℃、湿球温度 21℃、温水出入口温 度差5℃	-	-
S-027003	熱源(ヒートポン プ)	高温水ヒートポンプ(水熱源・ 循環式)	温水出口温度65℃、 熱源水入口温度17℃、 熱源水出口温度7℃、 温水出入口温度差 10℃	加熱能力	350kW超	3.3	-	成績係数 (COP)
S-027041					540kW以下			
			温水出口温度75℃、 熱源水入口温度40℃、 熱源水出口温度35℃、 温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	4.4	-	成績係数 (COP)

2. 2023年度環境省LD-Techリスト及び水準表からの変更点

LD-Tech水準の更新があったクラス (4/7)



更新箇所は、赤字で表示

水準表クラスNo.	区分	概要 設備・機器等	クラス			LD-Tech 水準	測定単位	
	技術分類		条件	能力 (名称)	能力 (単位)		単位	名称
S-027046	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	温水出口温度90℃、 熱源水入口温度17℃、 熱源水出口温度7℃、 温水出入口温度差 10℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	2.7	-	成績係数 (COP)
S-027057			温水出口温度45℃、 熱源水入口温度25℃、 熱源水出口温度 12.5℃、温水出入口 温度差5℃	加熱能力	270kW以下	4.8	-	成績係数 (COP)
S-027061			温水出口温度45℃、 熱源水入口温度0℃、 熱源水出口温度-3℃、 温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	3.0	-	成績係数 (COP)
S-029003		高温水ヒートポンプ (水空気熱源・循環式)	水熱源運転、温水出口 温度75℃、熱源水入 口温度17℃、熱源水 出口温度7℃、温水出 入口温度差10℃	-	-	3.0	-	成績係数 (COP)
S-037010	電気系給湯器	ヒートポンプ給湯機 (空気熱 源)	寒冷地仕様	加熱能力	30kW超40kW以 下	3.7	-	寒冷地年間標 準貯湯加熱エ ネルギー消費 効率
S-040005	ボイラ	温水機	潜熱回収型、LPG焚き	出力	1000kW以上 2000kW未満	103%		ボイラ効率

LD-Tech水準の更新があったクラス (5/7)

更新箇所は、赤字で表示

水準表クラスNo.	区分	概要		クラス		LD-Tech 水準	測定単位	
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)		単位	名称
S-040008	ボイラ	温水機	潜熱回収型、都市ガス13A焚き	出力	1000kW以上 2000kW未満	105%		ボイラ効率
S-261001※		温水機 (水素焚き)	-	-	-	95%		ボイラ効率
S-261002※		潜熱回収型 水素・都市ガス混焼	-	-	-	105%		ボイラ効率
S-044003		水素ボイラ (貫流ボイラ)	-	蒸発量	3000kg/h以上	98%		ボイラ効率
S-044004		潜熱回収型	蒸発量	1500kg/h以上 3000kg/h	105%		ボイラ効率	
S-046051	コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション	60Hz、中速エンジン (1000rpm未満)	発電出力	1000kW超 2000kW以下	47.8%		発電効率
S-047039		ガスタービンコージェネレーション	50Hz、希薄予混合燃焼方式	発電出力	5,000kW超 7,000kW以下	85.4%		総合効率
S-047040		50Hz、希薄予混合燃焼方式	発電出力	7,000kW超 10,000kW以下	85.4%		総合効率	
S-047070		60Hz、希薄予混合燃焼方式	発電出力	7,000kW超 10,000kW以下	85.4%		総合効率	
S-073001	工業炉	リジネレイティブバーナ	ツインリジネバーナ	-	-	87.8%		蓄熱体温度効率
S-073003		ラジアントリジネバーナ	-	-	94.2%		蓄熱体温度効率	

LD-Tech水準の更新があったクラス (6/7)

更新箇所は、赤字で表示

水準表クラス No.	区分	概要		クラス		LD-Tech 水準	測定単位		
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)		単位	名称	
S-263001	窓	内外共に換気口を持つ二重窓	外窓／樹脂複層 ＋内窓／樹脂複層、引違い	-	-	0.32	W/m2K	熱貫流率	
S-263002				外窓／樹脂複層 ＋内窓／樹脂単板、引違い	-	-	0.46	W/m2K	熱貫流率
S-263003				外窓／アルミ樹脂 複合複層＋内窓 ／樹脂複層、引違い	-	-	0.40	W/m2K	熱貫流率
S-263004				外窓／アルミ樹脂 複合複層＋内窓 ／樹脂単板、引違い	-	-	0.60	W/m2K	熱貫流率
S-263005				外窓／アルミ複層 ＋内窓／樹脂複層、引違い	-	-	0.54	W/m2K	熱貫流率
S-263006				外窓／アルミ複層 ＋内窓／樹脂単板、引違い	-	-	0.84	W/m2K	熱貫流率
S-263007				外窓／アルミ単板 ＋内窓／樹脂複層、引違い	-	-	0.90	W/m2K	熱貫流率
S-178001	その他	金属製玄関ドア	-	-	-	0.79	W/m2K	熱貫流率	

LD-Tech水準の更新があったクラス (7/7)

更新箇所は、赤字で表示

水準表クラスNo.	区分	概要 設備・機器等	クラス			LD-Tech 水準	測定単位	
	技術分類		条件	能力 (名称)	能力 (単位)		単位	名称
S-189001	空調機 (ヒートポンプ)	ヒートポンプ冷温水システム	-	加熱能力	4.0kW以下	4.3	-	成績係数 (COP)
S-189002			-	加熱能力	4.0kW超6.0kW以下	4.6	-	成績係数 (COP)
S-189004			-	加熱能力	7kW超12kW以下	4.1	-	成績係数 (COP)
S-189007			行き水温 (出湯温度) 7℃	冷却能力	4.0kW超5.6kW以下	2.8	-	成績係数 (COP)
S-194001	空調機 (ヒートポンプ・地中熱利用)	地中熱ヒートポンプ冷温水システム (ハイブリッド式)	-	加熱能力	8.0kW	5.1	-	成績係数 (COP)
S-227011	地熱発電	温水熱源小型バイナリー発電設備	100℃未満、400V/440V	出力	100kW以上200kW未満	8.1%		送電端発電効率
S-227023			100℃以上120℃未満、400V/440V	出力	100kW以上200kW未満	8.7%		送電端発電効率
S-232004	バイオマス発電	ディーゼル発電設備 (バイオディーゼル燃料専用)	50Hz、燃料の種類：バイオマスディーゼル燃料	出力	368kW以上 (400kVA以上)	40.3%		発電効率
S-232008			60Hz、燃料の種類：バイオマスディーゼル燃料	出力	368kW以上 (400kVA以上)	40.6%		発電効率

計算方法の更新があったクラス

- 下記クラスでは、JIS規格の改定に伴い、「準拠する規格」及び「計算式」を更新しました。

更新箇所は、赤字で表示

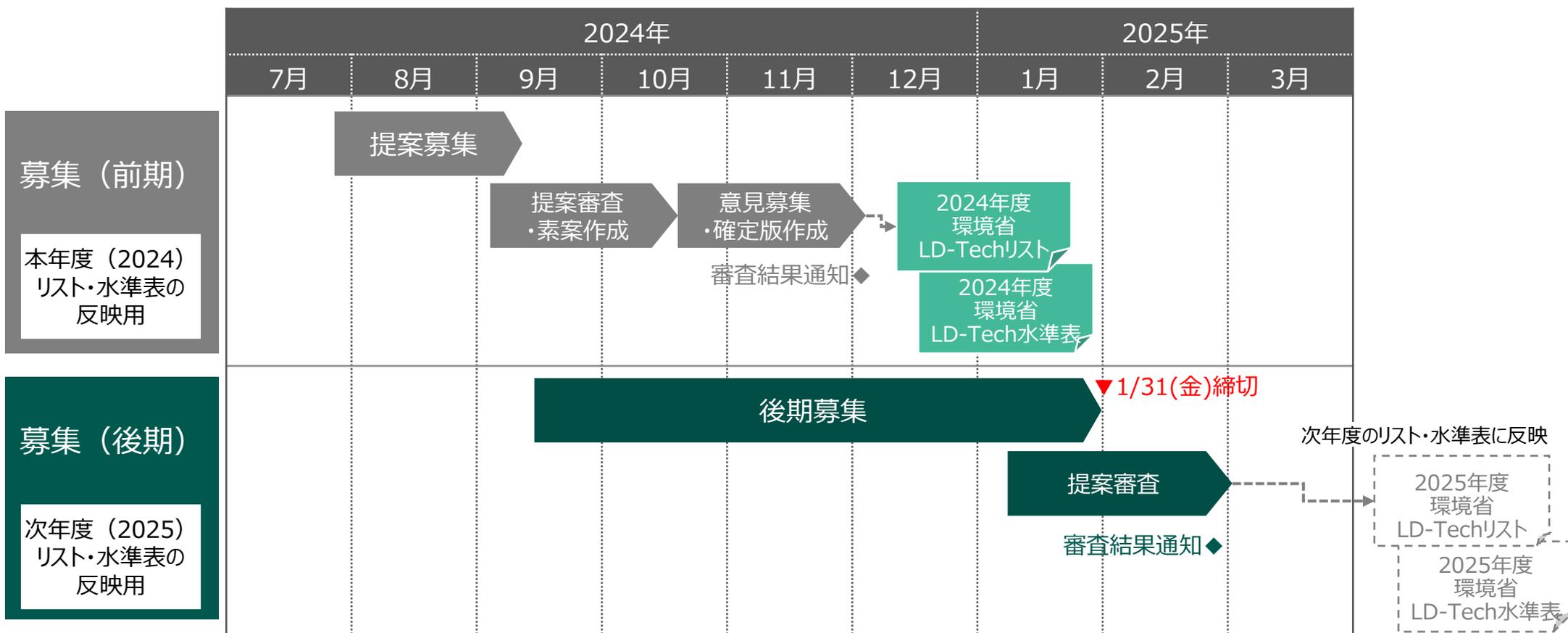
水準表クラスNo.	区分	概要	計算方法	
	技術分類	設備・機器等	準拠する規格	計算式
S-040001～ S-040018	ボイラ	温水機	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠
S-261001、 S-261002		温水機（水素焚き）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠
S-041001～ S-041007		蒸気ボイラ（貫流ボイラ）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠
S-042001～ S-042008		蒸気ボイラ （炉筒煙管ボイラ）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠
S-043001～ S-043005		蒸気ボイラ（水管ボイラ）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠
S-044001～ S-044003		水素ボイラ（貫流ボイラ）	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠
S-045001～ S-045003		熱媒ボイラ	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023	JIS B8222:1993及び JISB8222:2023に準拠

3. 環境省LD-Techリスト及び水準表の 拡充・更新に関する提案募集（後期）のご案内

本年度事業の募集期間

- 本年度事業では、環境省LD-Techリスト及び水準表の拡充・更新に関する提案の募集期間を前期と後期に分けております。
- 後期の募集分は次年度リスト・水準表に反映予定です。

本年度事業の募集期間と、リスト・水準表（本年度・次年度）への反映との対応関係（予定）



提案方法、募集期間、提出先・問合せ先

- 提案にあたっては、所定の「提案シート」を作成し、「根拠資料」と「申請者チェックリスト」と合わせた一式をE-mailにて事務局宛に送付してください。
- 提案書作成にあたり不明点がある場合、事務局との事前面談を強く推奨します。
- なお、申請に関する質問や面談設定は、E-mail又は電話にて受け付けます。

提案方法

所定の提案資料一式を作成し、E-mailにて事務局に提出

募集期間

令和6年（2024年）9月9日（月）～令和7年（2025年）1月31日（金）17:00まで

提案の提出先

2024年度環境省LD-Tech制度運営事務局
（デロイトトーマツコンサルティング合同会社）

問合せ先

【TEL】 070-3892-7310（受付時間 平日9:30～17:30まで）
【E-mail】ld-tech@tohatsu.co.jp

留意点

- 提案書類作成に当たって不明な点がある場合には、募集期間中の事務局との面談を強く推奨
- 事務局との面談設定を含む、各種お問合せはE-mailや電話にて受付
- 提案資料の未提出や未記入項目が顕著な提案については審査対象外となる可能性有り
- 募集期間中・募集期間外に関わらず、原則として一度提出された提案内容の変更は不可

募集区分

- 本募集における募集区分は次のとおりであり、いずれか1つを選択の上、提案してください。

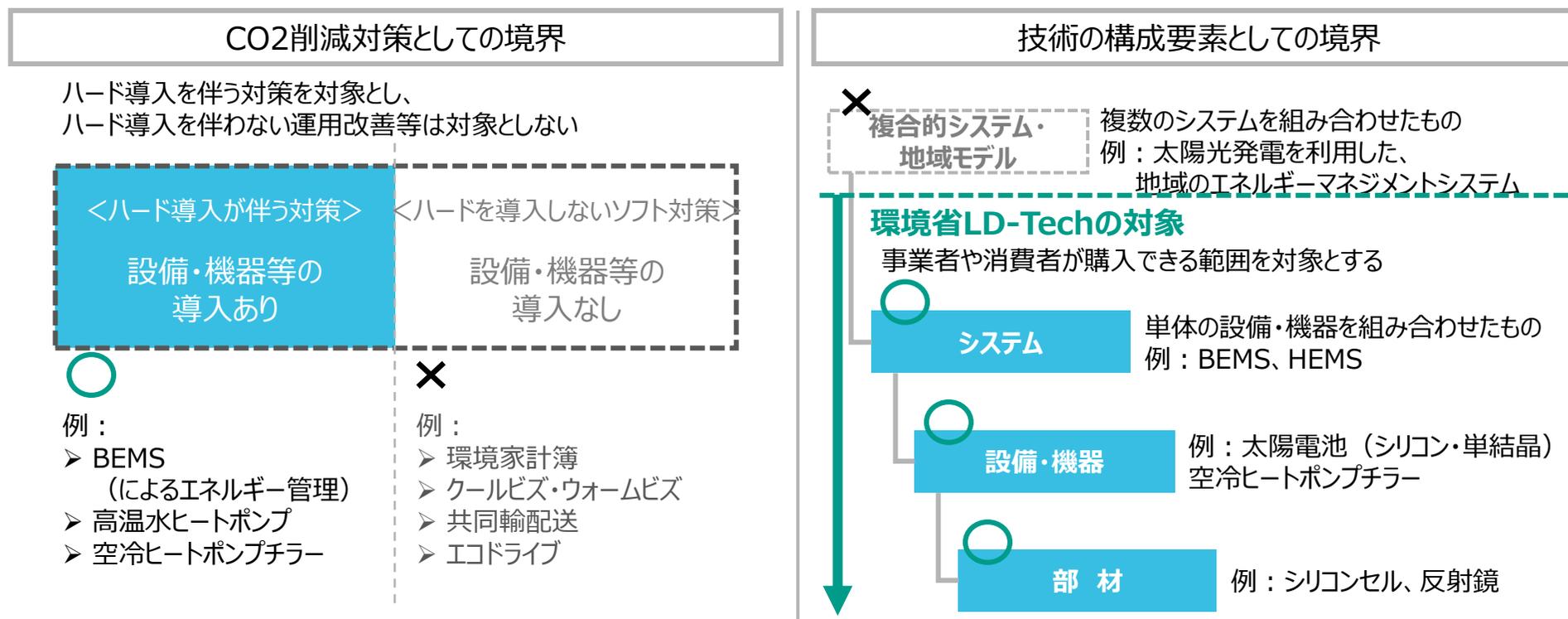
募集区分	概要
A リストへの新規追加	リストに掲載されていない設備・機器等の関連情報（区分、原理・しくみ、設備・機器等の名称）
B 水準表への新規追加	水準表に掲載されていない評価指標（試験条件・計算方法・測定単位）やクラス
C リスト及び水準表の同時新規追加	リストに掲載されていない設備・機器等の関連情報（区分、原理・しくみ、設備・機器等の名称）及び、水準表に掲載されていない評価指標（試験条件・計算方法・測定単位）やクラス
D リストあるいは水準表の更新	リストおよび水準表に掲載されている情報の更新内容

詳細は、令和6年10月22日の環境省報道発表「2024年度環境省LD-Techリスト（案）及び水準表（案）の意見募集等について」を参照ください。

4. その他参考資料

環境省LD-Techリスト：対象となる設備・機器

■ 環境省LD-Techリストの対象となる「設備・機器等」（技術カテゴリ）とは、CO2削減対策としてのハードの導入を伴い、かつ、国内の事業所や住宅等において導入可能な部材、設備・機器、システムを指します。

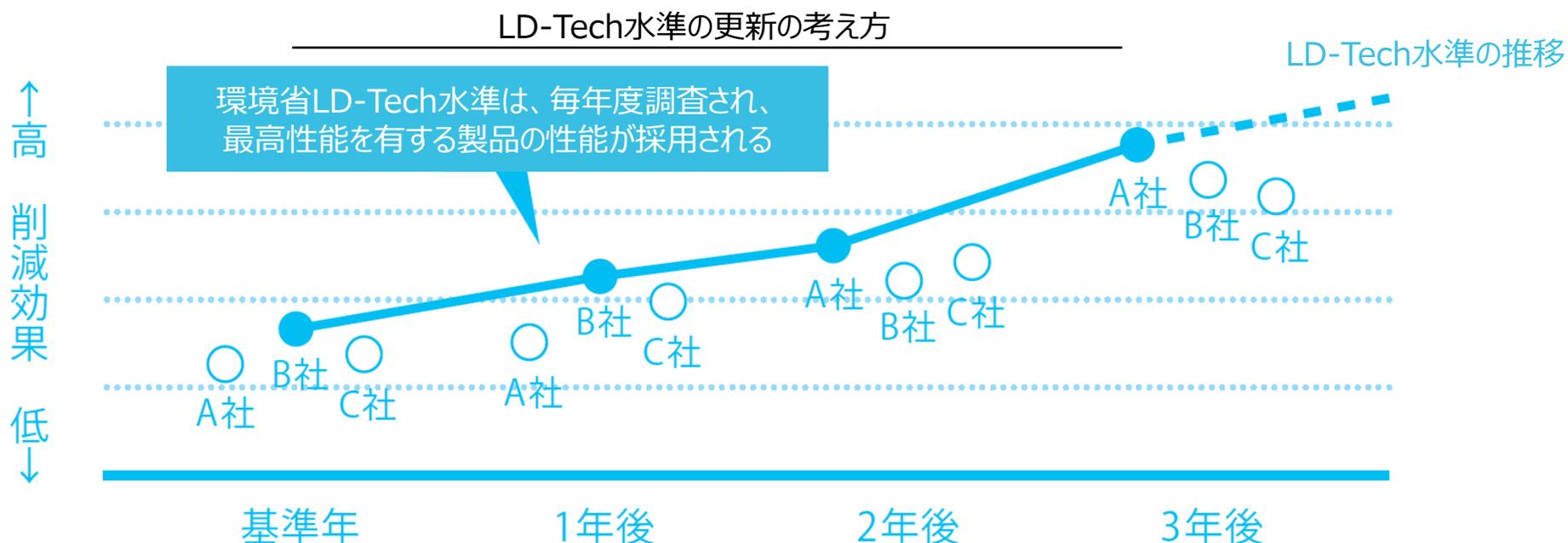


環境省LD-Techリストへの新規追加は「環境省LD-Techリスト及び水準表の拡充・更新に関する提案募集」にて公募。評価観点は下記の4点である。

- ① 現行のCO2排出量が多いセグメントに対して、CO2削減が貢献できる技術であること。あるいはエネルギーの脱炭素化に貢献できる技術であること。
- ② 一定のCO2削減効果が見込める技術であること。
- ③ 2030年時点において、量産化・水平展開が見込まれる技術であること。
- ④ 2030年時点において、導入・普及における経済的/社会的課題が少ない技術であること

環境省LD-Tech水準表：LD-Tech水準の更新

- 環境省LD-Tech水準表は、CO2削減に資する最先端の技術と最高性能について発信するため、毎年度更新され、その結果としてCO2削減に対する業界全体の技術革新の牽引を目指します。



- ✓ 当該年度の環境省LD-Tech水準は、前年度認証製品の性能をはじめ、事務局による調査や個社からの情報提供に基づき、更新される
- ✓ CO2削減効果性能を表す指標（測定単位、計算方法、試験条件）については、JISや業界団体等の標準規格に準拠する等、公平かつ妥当な評価方法が設定される

- 2023年度の製品募集時には、計43社から応募があり、親型番・派生型番を含む1,601製品が認証されました。
- また、2023年度にリスト・水準表に拡充された計7つの設備・機器の中で、26製品が同年度の環境省LD-Tech認証製品一覧に掲載されました。

2023年度の申請件数及び認証製品数

申請募集結果		申請件数 (件)
申請件数 (企業×担当者)		53
	申請企業数	43
認証製品数 (親・派生合計)		1,601
	親型番	667
	派生型番	934
(参考) 認証対象クラス数		685

2023年度に新規追加された設備・機器と認証製品数

設備・機器名	認証製品数
リジェネレイティブバーナ	15
現場施工型後付けLow-E複層ガラス	3
現場施工型後付けLow-E複層ガラス (家庭用)	3
温水機 (水素焚き)	2
蒸気発生ヒートポンプ (水熱源・一過式)	1
低放射遮熱塗料	1
熱回収式スクロール形圧縮機	1

- 本制度のウェブページ内に、環境省LD-Tech認証制度を活用している取組・支援策の一覧を掲載しております。

環境省LD-Tech認証制度を活用している取組・支援策の一覧 ※随時更新

取組・支援策名称	実施機関	実施年度	取組・支援策の概要	優遇条件	関連URL
工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（SHIFT事業）	環境省	令和6年度	本補助金の採択審査時に加点	-2022年度または2023年度の環境省LD-Tech認証製品一覧に登録されている設備機器を補助対象として導入すること	リンク
建築物等のZEB化・省CO2化普及加速事業のうち ・新築建築物のZEB普及促進支援事業 ・既存建築物のZEB普及促進支援事業 ・LCCO2削減型の先導的な新築ZEB支援事業	環境省	令和6年度	本補助金の採択審査時に加点	-2022年度または2023年度の環境省LD-Tech認証製品一覧に登録されている設備機器を補助対象として導入すること	リンク

現在公開されている取組・支援策

- **工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（SHIFT事業）**
- **建築物等のZEB化・省CO2化普及加速事業の一部**
⇒2022年度・2023年度環境省LD-Tech認証製品の導入が計画されている場合、採択・審査時の加点対象となる

環境省LD-Tech認証制度のウェブページに掲載中

※情報更新があり次第、随時支援策を追記予定

今後記載されることを期待する取組・支援策の例

- ユーザー
環境省LD-Tech認証製品の積極的な導入への推進宣言 など
- 自治体
補助金での優遇設備の1つとして環境省LD-Tech認証製品を追加
環境省LD-Tech認証製品を導入した事業者への税制優遇 など
- 金融機関
環境配慮型製品への金利優遇がある場合に環境省LD-Tech認証製品を対象に追加 など

環境省LD-Tech認証制度を活用している取組がありましたら、事務局までご連絡ください

